

1. 日 時 平成 28 年 9 月 10 日(土)～11 日(日) 開会 10:00/閉会 16:30 (予定)
2. 場 所 埼玉県立武道館(上尾市日の出 4-1877 Tel048-777-2400)
3. 主 催 公益財団法人全日本柔道連盟
4. 後 援 公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人講道館、朝日新聞社、埼玉県、上尾市、上尾市教育委員会
5. 主 管 埼玉県柔道連盟
6. 日 程 10 日(土) : 男子 4 階級 -55kg、-60kg、-66kg、-73kg/女子 4 階級 -44kg、-48kg、-52kg、-57kg
11 日(日) : 男子 4 階級 -81kg、-90kg、-100kg、+100kg/女子 4 階級 -63kg、-70kg、-78kg、+78kg
7. 出場資格
 - (1) 日本国籍を有し、本連盟に平成 28 年度登録をしている者。
 - (2) 平成 8 (1996) 年 1 月 1 日以降、平成 13 (2001) 年 12 月 31 日以前の出生者。
※2016 年中に 15 歳～20 歳になる者。
 - (3) 各地区の選出数は下記の通りとし、平成 28 年度登録を行なった都道府県からのみ予選に出場できる。
 - (4) 前年度の優勝者は、同階級に出場する場合に限り推薦出場できる。但し、前年度優勝者が年齢等により出場しない場合は、前年度の参加地区(登録した地区)から補充できる。
 - (5) 前年度の世界ジュニア選手権大会優勝者が同階級に出場する場合に限り推薦出場できる。但し、年齢等により出場できない場合の補充は行わない。
 - (6) 別途強化委員会が定める条件を満たし、強化委員会で承認された選手は推薦出場できる。但し、当該選手が出場できない場合の補充は行わない。推薦選手は別添名簿参照。
 - (7) 地区選出数が定数に満たない場合は、開催地(関東)から補充できる。
 - (8) **9 月 5 日(月) 正午まで**に大会事務局に欠場連絡のあったものに対してのみ選手の補充を行う。

選出数〔女子〕

階級	前年 優勝者	2015 世界 Jr. 優勝者	強化委員会 推薦※	北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	計
-44kg	光永★		0	1	1	3	4★	1	1	3	2	1	2	19
-48kg	常見	渡名喜☆	0	1	1	3	3	1	1	3	2	1	2	19
-52kg	渡邊★		1	1	1	3	4★	1	1	3	2	1	2	20
-57kg	舟久保	同左	0	1	1	3	3	1	1	3	2	1	2	19
-63kg	鍋倉	同左	3	1	1	3	3	1	1	3	2	1	2	22
-70kg	青柳		1	1	1	3	3	1	1	3	2	1	2	20
-78kg	山本		2	1	1	3	3	1	1	3	2	1	2	21
+78kg	朝比奈	富田	0	1	1	3	3	1	1	3	2	1	2	20
計	6	1	7	8	8	24	26	8	8	24	16	8	16	160

選出数〔男子〕

階級	前年 優勝者	2015 世界 Jr. 優勝者	強化委員会 推薦※	北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	計
-55kg	樋口		0	1	1	3	4	1	1	3	1	1	2	19
-60kg	永山	同左	0	1	1	3	4	1	1	3	1	1	2	19
-66kg	浅利★	同左	1	1	1	3	5★	1	1	3	1	1	2	20
-73kg	山本★		1	1	1	3	4	1	1	4★	1	1	2	20
-81kg	藤原		0	1	1	3	4	1	1	3	1	1	2	19
-90kg	向		0	1	1	3	4	1	1	3	1	1	2	19
-100kg	飯田		1	1	1	3	4	1	1	3	1	1	2	20
+100kg	小川		0	1	1	3	4	1	1	3	1	1	2	19
計	6	0	3	8	8	24	33	8	8	25	8	8	16	155

★印は、前年度優勝者に出場資格がないため、所属地区の 1 名増を示す。 ☆印は、年齢基準を超えているため出場資格なし。所属地区の増員はしない。

※5～7 月に開催される国際柔道連盟 (IJF) のシニア国際大会優勝者が追加される。

8. 指導者資格 全柔連指導者資格 A または B を有し、平成 28 年度全柔連登録をした者のみがコーチ席に帯同することができる。コーチとして帯同する指導者は選手の参加回答書に必要事項を記入の上、参加を申込むこと。資格を有しない者には大会 ID は発行されない。
9. 公式計量 時間 試合日前日の 18:00～18:30 (非公式計量 17:30～18:00)
両日とも 場所: 男子「1 階柔道場」 女子「2 階剣道場」
10. 前日練習 埼玉県立武道館「柔道場」を下記の時間使用することができる。
9 月 9 日(金)13:00～18:30 9 月 10 日(土)15:00～18:30
11. 試合方法 (1) 2014 年 1 月から国際柔道連盟が施行している、国際柔道連盟試合審判規定で行う。
(2) 試合時間は 4 分間とし、優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導」以上とし、得点・指導差がない場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗を決する。
(3) 試合はトーナメント戦で行い、敗者復活戦はベスト 8 以上の選手を対象とする。
12. 服 装 (1) 全日本柔道連盟柔道衣規格に適合した柔道衣(上衣、下穿、帯)を使用すること。
(2) 柔道衣は白色のみを使用し、背部に下記の要領でゼッケンを各自で縫い付けること。
① 布地は白色(晒太綾)で、サイズは横 30cm～35 cm、縦 25cm～30 cm。
② 上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に所属を表記する。書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること。
③ 男子は黒字、女子は赤字とする。
④ 縫い付けの位置は後襟から 5～10 cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること。
※広告の入った柔道衣及びゼッケンの使用は不可とする
(3) 女子の黒帯は、白線入りをを使用すること。
- 苗 字
〇〇大学
13. 参加申込み (1) 地区柔道連盟(連合会・協会)
① 参加回答書
参加選手名簿を添えて **7 月 25 日(月)必着**で下記宛に送付すること。
② 参加申し込み料
1 人 2,000 円×参加選手数分を取りまとめ、**7 月 25 日(月)**までに下記口座へ振り込むか、現金書留にて下記宛に送金すること。
③ 顔写真
選手および帯同する指導者の顔写真は、**7 月 25 日(月)**までに E-mail にて taikai@judo.or.jp 宛に送信すること。
(2) 推薦出場選手(前年優勝、世界ジュニア優勝、強化委員会推薦)
各自で **7 月 25 日(月)**までに下記へ参加回答書を送付し、参加申し込み料 2,000 円を下記宛に振り込むか、現金書留にて送金すること。また、欠場する場合は参加回答書を下記宛に送付すること。(欠場の場合は FAX でも可)
- 【参加回答書送付先及び連絡先】
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-33-13 日本生命春日町ビル 7 階
(公財)全日本柔道連盟 大会事業課 (Tel03-3818-4392 Fax03-3818-5447)

【参加申し込み料振込み先】
三菱東京UFJ銀行 春日町支店 普通 0687103 公益財団法人全日本柔道連盟
- (3) 申込み後に欠場する場合は、速やかに上記あてに連絡すること。なお、申込み後の参加料の返金は行わない。
14. 組合せ抽選 8 月下旬予定(全柔連 HP 上で発表 <http://www.judo.or.jp/>)
15. 審判会議 日時: 9 月 9 日(金) 17:00～18:00 場所: 東武バンケットホール上尾 4 階 「ポリアスの間」
16. 宿泊斡旋 宿泊の斡旋を希望する者は、所定の申込書にて下記まで各自で申し込むこと。
宿泊申込みは **7 月 25 日(月)午前 10 時 00 分**より開始する。(期日前の申込みは無効となります)
- 株式会社レイワ総合企画 (Tel048-824-1008 Fax048-824-6338) 担当 佐藤

17. ドーピング検査 (1) 日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査を実施する。
(2) 本大会参加者は、エントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
(3) 本大会にて採取した検体からの禁止物質等の検出に限らず、ドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示

に従わない場合、何らかの理由によりドーピング検査手続きを完了させなかった場合においても、日本ドーピング防止規程および全日本柔道連盟ドーピング防止規程に基づき制裁等を受ける。

- (4) 未成年者である本大会参加者のエントリーにおいては、ドーピング検査の実施について親権者からも同意を得た上でエントリーしたとみなす。
- (5) 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト参照のこと。(http://www.playtruejapan.org)
- (6) 全日本柔道連盟ドーピング防止規程の詳細は全柔連ウェブサイト参照のこと。(http://www.judo.or.jp)

18. その他

- (1) 開会式は初日の階級出場者のみ参加すること。
- (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (3) 傷害保険については、出場選手の傷害保険は、主催者が加入しその費用を負担する。
- (4) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
 - ・大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
 - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。
- (5) 個人情報、肖像権の取り扱いについて
 - ・参加申込用紙に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。
 - ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。
 - ・参加申込用紙の提出により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。

19. 推薦選手 全日本柔道連盟強化委員会より推薦された選手は下記のとおり。平成28年5月17日現在

【男子】

66kg 級	阿部 一二三	73kg 級	福岡 克仁
100kg 級	ウルフ アロン		

【女子】

52kg 級	富沢 佳奈	63kg 級	嶺井 美穂
63kg 級	米澤 夏帆	63kg 級	能智 亜衣美
70kg 級	池 絵梨菜	78kg 級	泉 真生
78kg 級	梅津 志悠		

※今後、5~7月に開催される国際柔道連盟(IJF)のシニア国際大会優勝者が追加される。

以上